

# 平尾台・大平山(567m)貫山(712m) (秋の山野草を探しに)

実施日 2021年 10月 3(日)

ガイド: Aコース天野健司  
Bコース城戸優香

参加料: 7,500円

体力度: A-4 B-2

標高差: A約150m

B約100m

行動時間: 約4.5時間

集合場所

佐賀市役所西側北向き 6:45

金立SA下駐車場・・・7:00

東背振支所・・・・・・7:15



貫山山頂から  
瀬戸内海方面を望む



ムラサキセンブリ  
(絶滅危惧種)

ガイドクラブ: 0952-37-0577

当日(天野): 080-5213-9676

## <行程>

AB: 東脊振 IC7:20=小倉南 IC8:30=吹上  
峠(ストレッチ) 9:00~9:30

A: ...大平山 10:15...四方台 11:30...貫山  
山頂(昼食) 12:30~13:10...茶が床園地  
(下山口) 15:00~15:30

B: ...大平山 10:40~11:00...四方台(昼  
食) 12:30~13:30...茶が床園地(下山口)  
15:00~15:30

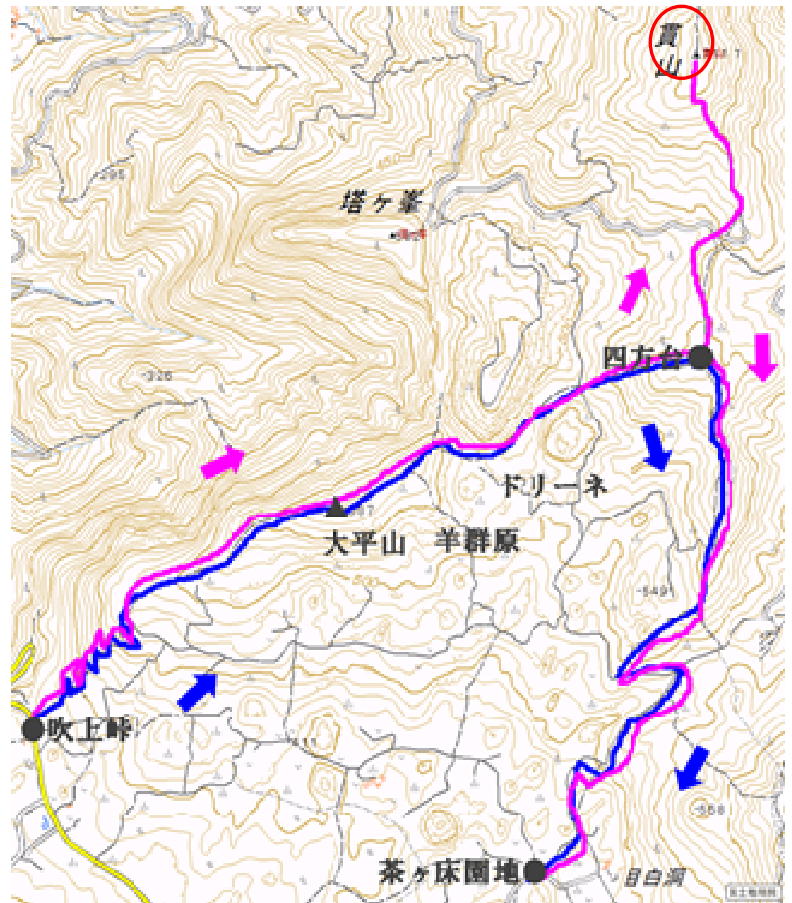
AB: ==温泉又は平尾台ビジターセンター  
16:00~17:00==東脊振 IC19:00==金  
立SA下駐車場 19:15==佐賀市役所西  
19:30

※ほうじょう温泉ふじの湯(☎  
0947-22-6667)を予定

## <山とコースの概要>

北九州平尾台を秋真っ盛りの中歩きます。対象の山は大平山(おおへらやま)を  
経由し貫山(ぬきさん)です。平尾台は標  
高が370m~710mの石灰岩のカルスト台  
地で地表に石灰岩が露出しています。この  
石灰岩の景色は羊に例えられて羊群原(よ  
うぐんばら)と呼ばれ、独特の景観を作っ  
ています。半自然の草原景観を守るために毎年3月に野焼きが行われています。周辺には鍾乳洞が  
点在しいくつかは観光用に開放されています。木々が少ないため山野草も多く春から秋まで、種々  
の草花が咲きます。北九州市から近いこともあって、年間を通して登山者が途絶えることはありません。

小倉南ICを降りて平尾台を目指します。トイレも完備している吹上峠に駐車して時計回りに歩  
きます。まず大平山を目指し、見通しの良い石灰岩の間を登り、山頂で一服したいと思います。最高  
峰の貫山よりは大平山周辺の方が山野草は多いように思います。大平山からは下り気味に石灰岩の  
間を通り、四方台経由で貫山を目指します。途中ドリーネと呼ばれる陥没地を見ることが出来ます。  
四方台から最後の登りを頑張ると貫山山頂です。山頂からは周防灘や刈田港、北九州空港などを望  
むことが出来ます。下りは四方台まで戻り茶が床園地を目指します。Bコースの大平山チームは四  
方台で食事後、茶ヶ床園地へ下ります。花の観察や写真撮影はこちらのコースが断然おすすめです。



＜参加の注意点＞

- ・ 料金に含まれるもの＝集合場所からの交通費・温泉代・ガイド料・保険料
- ・ 含まれないもの＝昼食・行動食・個人の装備
- ・ 参加料は1週間前までにお願いします
- ・ 3日前から参加費の50%がかかります。当日キャンセルは全額返却いたしません。
- ・ 雨など天候によっては行程より遅れたり、体力度が上がる場合があります。
- ・ 雨などで中止の時は必ずこちらか連絡します
- ・ 天候によって花の時期がずれる時もあります。ご了承ください。
- ・ 温泉入浴につきましては、近県の緊急事態宣言が発令中は新型コロナウイルスの蔓延防止と皆様の健康維持のため、入浴はありません。解除されましたら予定通り入浴します。
- ・ 山行中撮影した写真についてはガイドクラブの宣伝及びDVDの販売等で使いますが、写真に写りたくない方は事前に申し出てください。またこれらのデータは他の目的で使用しません。

羊群原と大平山をバックにして下山する登山者



装備品名		装備品名	
雨具	◎	地図・コンパス	△
防寒具	○	タオル・バンダナ	○
帽子	◎	ヘッドランプ	◎
手袋	○	水に溶けるティッシュ	◎
スパッツ	○	ビニール袋	◎
ストック・ステッキ	○	時計	○
水 1.5L 以上 (水筒)	◎	健康保険書写	○
ザックカバー	○	非常食・行動食	◎
緊急用品・医療品	○	お弁当	◎
昼食用日傘	△	携帯電話 (お持ちの方)	○

ゲンノショウコ (白花)



ハルジオオン

